

## 第1回 高校生SDGs選手権大会 ポスター発表 説明資料

学校名	中間高等学校
チーム名 (メンバー名)	F チーム 萩原 廉大 福丸 翔大 吉田 希来 波多野 結 小下 万絢 吉津 愛香 松下 大陸 武藤 嗣実 和間 太心 山本 碧士
作品タイトル	安全な水を提供する人たちの活躍
関係する SDGs のゴール	安全な水とトイレを世界中に
説明文	<p>私たちは「すべての人に安全な水を、また持続可能な衛生環境を確保する」という目標を立てた。</p> <p>世界では国際児童基金（UNICEF）と世界保健機関（WHO）が水の供給と衛生施設の共同プログラム（JMP）に取り組み、SDGs の目標達成を目指している。特にインド、ケニア、エチオピア、タンザニアなどの 15 か国以上の発展途上国で取り組まれている。その結果、保健所が整備され、感染症の予防や薬剤耐性菌の拡大の削減に成功し、妊婦が安全に出産できる環境が整った。もちろん、飲み水や生活用水も安全なものが供給されるようになった。</p> <p>次に北九州の取り組みは、先ほど述べた発展途上国に市の職員が出向いて上下水道技術協力を行っている。具体的には国際協力機構（JICA）を協力して、安全な水を供給する活動をしている。その結果、カンボジアでは、無収水量率を 72%を 6%までに大幅に引き下げることに成功し、水道水の料金収入が入るようになった。</p>
課題、 今後の展開など	日々の安全な水のおかげで、清潔な環境を保ち続けられることに感謝すべきだと強く感じた。
参考文献等	Goodod マガジン、朝日新聞

(説明文は 1 ページ以内)